

令和6年度第1回自動車整備技能登録試験〔実技試験〕

第109回〔三級自動車シャシ〕

令和7年1月19日

31 問題用紙

受験番号	受験地	回数		種類		番号			氏名	※
		1	0	9	3	1				

※試験説明で  
指示された  
者のみ記入

【試験の注意事項】

1. 受験票又は受付番号票に記入してある受験番号及び氏名を、該当欄に思考席で記入してください。
2. 各問題の確認結果、測定結果及び解答は、問題用紙の該当欄に記入してください。ただし、思考席では記入しないでください。
3. 故障を設定している問題については、問題中に特段の指示がない限り、重複故障はないものとします。
4. 試験中、各部品は、台上で点検等を行ってください。
5. 問題用紙の余白部分には、自由にメモすることができます。
6. 試験終了後、この問題用紙を回収します。

【不正行為等について】

1. 携帯電話等の電子通信機器類は、試験会場に入る前に必ず電源を切って、カバン等に入れておいてください。
2. 試験時間中(試験会場内)において、携帯電話等の電子通信機器類を使用した場合は、不正の行為があったものとみなし、試験を停止し、又は、その試験を無効とすることがあります。
3. 登録試験に関して不正の行為があったときは、当該不正行為に関係ある者について、その試験を停止し、又は、その試験を無効とすることがあります。

この場合において、その者について、3年以内の期間を定めて登録試験を受けさせないことがあります。

問題 1 台上にあるライト・スイッチ及びバッテリーについて、次の各問に答えなさい。

なお、必要事項は、台上の留意事項に示してあります。

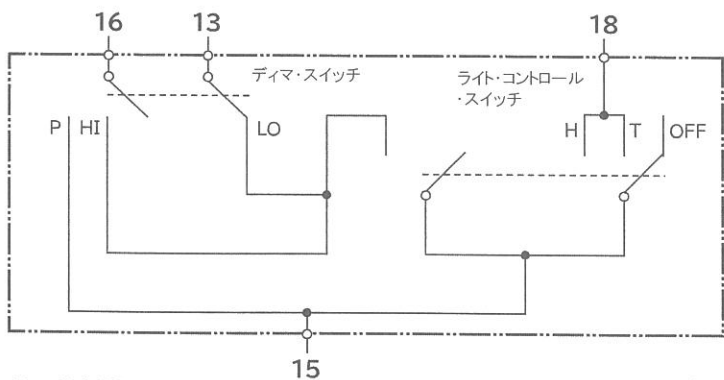
問 1 台上のライト・スイッチは、あるポジションに固定されています。アナログ・サーキット・テスタを用いて、下表に掲げるライト・スイッチの各測定端子間の抵抗を測定し、測定値を下表の該当欄に整数(小数点以下を切り捨て)または∞(記号)で記入しなさい。

次に、測定値からディマ・スイッチの状態を特定し、該当するものを一つ選んで○印で囲みなさい。

測定端子	測定値	ディマ・スイッチの状態
18—15間	Ω	・ L O  ・ H I
13—15間	Ω	
16—15間	Ω	

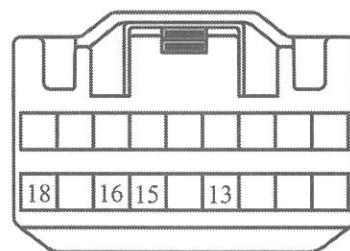
《ライト・スイッチの回路図及び端子配列》

(回路図は台上のライト・スイッチのポジションとは異なります。)



P : PASS

H : HEAD  
T : TAIL



問 2 バッテリ・クーラント・テスタを用いて、バッテリーの電解液の比重を測定し、測定値を下表の該当欄に小数点以下第2位まで記入しなさい。

測定項目	測定値
比重	

問題 2 台上にあるオートマチック・トランスミッションのクラッチ・プレート及びブレーキ・ピストンについて、次の各問に答えなさい。

なお、必要事項は、台上の留意事項に示してあります。

問 1 マイクロメータを用いて、ドリブン・プレート(A)及びドライブ・プレート(B)の厚さを指定した箇所測定し、測定値を下表の該当欄に、小数点以下第2位(小数点以下第3位を切り捨て)まで記入しなさい。

測定項目	測定値
Aのプレート	mm
Bのプレート	mm

問 2 ノギスを用いて、ブレーキ・ピストンの外径を指定したA方向及びB方向で測定し、測定値は最小値を下表の該当欄に、小数点以下第2位(小数点以下第3位を切り捨て)まで記入しなさい。

測定項目	測定値
ピストンの外径	mm

問題 3 台上にあるクラッチ・マスタ・シリンダについて、次の各問に答えなさい。

なお、必要事項は、台上の留意事項に示してあります。

問 1 クラッチ・マスタ・シリンダを分解し(組み付けてある部品は、すべて分解図をもとにして取り外し)、ピストン及びシリンダ内面の傷の有無を確認し、下表の該当欄の何れかを○印で囲みなさい。

確 認 項 目	傷の有無
ピストン	有 ・ 無
シリンダ内面	有 ・ 無

問 2 次に、ピストン、ブーツ、再使用不可部品を交換して、指定箇所に給脂を行った後、組み付けなさい。